

「みんなどうしてる?? 給食のあれこれ」PART 1

コロナ対応、コロナ禍における食育活動は、どのようにされていますか？
(体験活動や学級活動での話し合いなどができず、困っています……)

<みんなの声（全国の栄養教諭等の有志の皆さん）>

- 体験活動は行えていませんが、話し合いは、その地域の感染のレベルに応じて行っています。
- 個人でできるような内容に工夫しました。(全国学校栄養士協議会発刊の「新型コロナウイルス感染症への対応～休校中における栄養教諭・学校栄養職員の取組～」の冊子を参照しています。)
- 体験は動画で、話し合いは先生と児童のやりとりで実施しています。
- ICTの活用。個人で考える活動の充実。グループ単位の話し合いではなく、学級単位での話し合い活動など。
- 全国の悩みです。縮小された活動や授業内容になるかもしれませんが、とにかく学びを止めないことが大事だと思います。学級活動の話し合い活動は隣同士や席が近い仲間で大きなグループを作らずに話し合いを行います。
- 授業では、グループワークをしない形に変更。給食時間は、訪問指導ではなく、ビデオやパワーポイントを活用。
- 黙食を良い機会ととらえ、「味わって食べる」ことを推進しています。食育は授業だけではありません。給食を通してできる食育をすることが大切かと思います。
- グループでの話し合いは15分以内で行っています。話し合いの短縮のため、グループで話す前にお互いのプリントを回して一通り目を通してからグループ活動を開始します。
- 防災給食前の事前学習で、ローリングストック法の話や缶詰の活用について学ぶ取組
- 授業では、机をピッタリつけず少し間をあげ、短時間で話し合いをおこなっています。調理実習は、食べる時以外はマスクをし、実習内容は最終加熱の料理にしています。また、学級活動での話し合いの代わりに、ワークシートを活用して考えさせています。
- 給食時間の指導（給食委員会と連携して、ポスターを使った給食マナー指導や、食育放送など）を充実させました。

(「学校の食事2月号」より一部抜粋)